

(様式第4号)

B E M S 概 要 書

※補助対象BEMSとして、複数のBEMSの登録を希望する場合は、BEMSごとに作成すること。

1. システム概要

BEMS提供事業者の名称	パルコスモ株式会社			
BEMSの名称	PN-mXERO			
想定対象施設	業種	(小規模)福祉施設	延床面積	900㎡
	契約電力	50kw	計測点数	パルス入力1点(MAX3点) 電力計測2点(MAX4点) 温度計測4点(MAX4点) 室外機稼働4点(MAX4点)
URL(※)	http://www.palcosmo.co.jp/			

※当該BEMSに関する情報をウェブサイトに掲載している場合に記入

2. システムの特徴 ※200字以内(厳守)でシステムの特徴を端的に説明すること。

デマンドピーク時だけでなく、それ以外の時の使用量もムダを削減していくBEMSである。基本料金だけでなく使用量料金もダブルで削減していくのは自動制御をする事で行われるが、見える化主体の用途の場合も多い。デマンドピーク時の対応、日頃の電気使用量の削減についてはパターンによって室外機を制御することで行われる。デマンド値警報の為にプザーや回転灯を接続可能で、ピークが収まるまでは鳴って知らせる事ができる。

3. システムを構成する主要な機器・設備(標準構成)

No.	機能	名称	メーカー	型番	参考価格(円)
1	制御盤	主装置	パルコスモ(株)	PN-mXERO	1,000,000
2	デマンド計測	パルス検出ユニット	㈱エムシステム技研	CLSP-5	28,000
3	外部信号による空調制御	空調制御アダプタ	ダイキン(例)	DTA104A3	31,000
4	電力負荷計測(オプション)	パワーメーター	パナソニック(株)	AKW7111	18,000
5	電力負荷計測(オプション)	分割CT 100A	パナソニック(株)	AKW4802C	5,000
6	デマンドピーク時警報(オプション)	LEDフラッシュマルチサイレン	竹中エンジニアリング(株)	LFS-100R	33,000

4. システムの機能(実装機能について「該当」欄に○を記入)

区分	項番	項目	機能	該当	補足事項		
○	1	電力	電力消費量	事業所全体の電力消費量を計測できること。	○		
			発電量・売電量	太陽光発電、燃料電池等の発電設備を有する場合、機器ごとの発電量及び売電量を計測できること。(他社の発電設備である場合等、計測できない場合を除く)	○	積算パルスにて出力して貰えれば可能	
			蓄電量・放電量	蓄電設備を有する場合、蓄電量及び放電量を計測できること。(非常用等、計測する必要がない場合を除く)			
			計測間隔	事業所全体の30分以内の積算電力消費量を計測できること。	○		
			見える化	事業所全体の30分以内の積算電力消費量を表示できること。	○		
			エネルギーの計測と見える化	エネルギー消費量	事業所全体のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。	○	積算パルスにて出力してもらえれば可能
			電力以外の(ガス、重油等)	見える化	主たるエネルギー(電力除く)負荷設備のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。	○	積算パルスにて出力してもらえれば可能
			全体	見える化	事業所全体の積算エネルギー(電力除く)消費量を表示できること。	○	
			ローカル制御(※)	見える化	事業所全体のエネルギー(電力含む)消費量を原油換算値(kl)で表示できること。		
			省エネやピーク対策のために、各機器を自動制御できること。			○	
○	接続機器の制御	遠隔制御(※)	地域電力のひっ迫時等に、事業所から離れた場所から制御できること。(機器直接制御でもデマンド目標値変更による間接制御でも可)	○			
		発電、蓄電設備(※)	発電、蓄電設備を有する場合、事業所及び事業所から離れた場所から稼働状態を変更できること。	△	設備側に接点を受けてもらえる物があれば可能		
		デマンド警報	省エネやピーク対策のために、各機器を自動制御できること。	○			
○	デマンドの管理	デマンドピークの制御(※)	上記の場合に、電力消費量を自動制御できること。	○			
		デマンドレスポンス	補助対象BEMS提供事業者が電力会社等から要請を受けた場合、補助対象BEMS提供事業者のセンターシステムと連携して事業所から離れた場所からも電力使用量を抑制できること。	○	東電BSP等で既に稼働、運用済み		

区分: ○は必須、その他は任意

※制御履歴を保存できるようにすること。